



令和3年度 日本語ボランティアのための

Step up!

ステップアップ講座

教室活動を振り返る際、専門家の視点を借りると、自分では見過ごしてしまう点も意外なスキルアップのヒントになります。よりよい支援に向けて、今あなたの活動に必要なことを一緒に考えてみませんか。

	日時	タイトル・内容	講師
第1回	10月23日(土) 13:30~15:30	学習者の思いを引き出す ~「聞く力」は始めの一步~ 日頃の教室活動で、学習者は十分に話していますか。支援者ばかりが話しているということはないでしょうか。支援者に「聞く力(聴く力)」があると、学習者が自分の思いや考えを日本語で表現する意欲を高めることができます。日本語支援の第一歩として、学習者の話を聞く姿勢について考えます。	AJALT所属 日本語教師 内藤真知子
第2回	11月27日(土) 13:30~15:30	学習者の多様性を受け入れる ~一人一人の個性を生かした教室活動とは~ 学習者の母語や日本語力、日本での生活歴は十人十色です。この「多様性」は日本語支援にとって「やりづらいこと」なのでしょう。逆に、この違いを学習活動に活かす、そんな発想の転換をしてみませんか。	AJALT所属 日本語教師 内藤真知子
第3回	12月17日(金) 18:45~20:45	日々の学習評価と到達目標 ~効果的な支援のステップを考える~ 学習者の意欲を高めるには、学習者自身が一つ一つの身近な目標を意識し、その先にある最終目標をイメージすることが大切です。そのためには、学習者の様子をよく観察し、記録(ジャーナル)を残すことが助けになります。ジャーナルづくりのポイントを学び、日本語力の伸びを正しく評価できる目を養い、中長期的な学習計画につなげていきましょう。	AJALT所属 日本語教師 宮下しのぶ
第4回	1月21日(金) 18:45~20:45	助詞の理解を深めよう 『ここは「は」? 「が」? それはどうして?』普段何気なく使っている助詞ですが、日本語学習者にとっては大きな壁となっています。まずは支援者自身が助詞についての理解を深めることが大切です。その上で、学習者にとって分かりやすい支援の方法を考えましょう。支援に役立つ教材もご紹介します。	AJALT所属 日本語教師 渡邊聡子
第5回	2月26日(土) 13:30~15:30	防災ワークショップ ~東日本大震災の事例から学ぶ外国人支援~ 日本は災害多発国であり、非常時には日本人、外国人ともに地域住民として助けあう「共助」が大切です。未曾有の大災害「東日本大震災」の実ケースから、言語や文化の違いで生じるトラブルの未然防止や「防災」の日本語活動を考えます。	AJALT所属 日本語教師 竹歳三千子

★対象：協会日本語ボランティア ★費用：無料

★定員：第1回~4回 各回50名 zoomによるオンライン講座形式
第5回 20名 対面講座形式 新富区民館 6・7号室

★申込方法：対象者にe-mailで送付するGoogle FormのURLより、ステップアップ講座 第〇回、氏名、教室名、電話番号をお知らせください。

★新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、講座形態および開催時刻が変更になる場合がございます。

【申込先・問合せ】

中央区文化・国際交流振興協会(CCIEA) 中央区新富 1-13-24 新富分庁舎 3階
TEL: 03-3297-0251 Email: bunkoku@chuo-ci.jp

